



窓の
むこうに

April - May 2024

こんな本



読んでみて

No. 106

三重短期大学附属図書館 

目次

窓のむこうに 1

Book designの世界vol.36 10

ちょこちょこ日記 #46 12



窓のむこうに

思いをはせる
自分を見つめる
希望を見つける

本を開いて 窓を開く

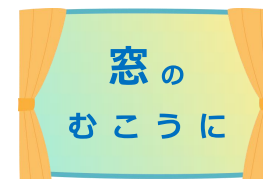
窓のむこうに 何が見えますか？



『あさになったのでまどをあけますよ』

著 者／荒井良二
出版社／偕成社
出版年／2011年
請求記号／726.6||A 62

さまざまな場所の朝の風景が、あたたかな色彩で描かれた絵本です。朝、窓を開けるというシンプルな行動や、窓のおこうにあるいつもの風景の中に、じんわりと希望が広がっていくのを感じます。



『窓』(百年文庫 26)

著 者／遠藤周作,ピランデルロ,神西清
出版社／ポプラ社
出版年／2010年
請求記号／908.3||Hy 99||26

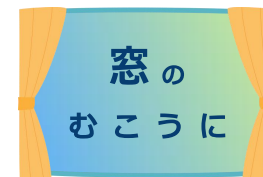
漢字一文字をテーマに短編小説を集めたアンソロジーシリーズ。26巻は窓をテーマに、遠藤周作『シラノ・ド・ベルジュラック』、ピランデルロ『よその家のあかり』『訪問』、神西清『恢復期』が収められています。じっくり読みたい一冊。



『窓から見える最初のもの』

著者／村木美涼
出版社／早川書房
出版年／2017年
請求記号／913.6||Mu 45

第7回アガサ・クリスティー賞受賞作。短大生・相沢ふたば、経営者・藤倉一博、不動産屋・連城美和子、会社員・御通川進という接点のない4人の物語が、いつしかつながっていきます。緻密な構成が光るミステリー作品です。



『風の港』

著者／村山早紀
出版社／徳間書店
出版年／2022年
請求記号／913.6||Mu 62

春の空港を舞台に、旅のひとつときに交差する人々のふれあいを温かく描いた作品です。空港に飾られた桜の花が、旅立ちを温かく見守っているかのように感じます。心にさわやかな風が吹くような春にぴったりの物語です。



『窓から見える世界の風』

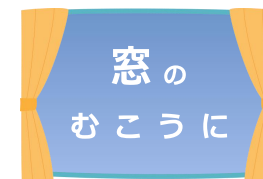
著 者／福島あずさ(著), nakaban(絵)

出版社／創元社

出版年／2018年

請求記号／451.4||F 84

「春一番」「フェーン」「ハリケーン」など世界各地の風が紹介され、風と共にある人々の暮らしが見えてきます。窓から見える風景を描いた絵が添えられていて、ページをめくるたびに世界の風を感じる一冊です。



『世界の家の窓から』

編 者／主婦の友社

出版社／主婦の友社

出版年／2022年

請求記号／290.87||Sh 99

コロナ禍に誕生したサイト「VIEW FROM MY WINDOW」の日本版書籍です。世界中の人々の魅力的な「自宅の窓からの風景」とエピソードが紹介されています。自宅の窓と世界はつながっているのだと感じられる一冊です。

PICK UP! 電子書籍

三重短生のみなさんが利用できる電子書籍から4タイトルをご紹介します。
電子書籍は、図書館ホームページでマイページへログインすると使えます。
くわしくは、電子書籍ページをご確認ください。



『日常写真が楽しくなる ノートブック』

著者／鈴木さや香
出版社／インプレス
出版年／2021年



窓のおここの景色や、窓から差す光の写真を撮りたくなったあなたにおすすめです。写真を通して、自分の日常や暮らしを見つめてみませんか。

『“好き”を切り取る Photoliの写真帖』

著者／Photoli
出版社／インプレス
出版年／2021年



おしゃれな写真と撮影のコツがたくさん紹介されています。
身近な景色の見え方が変わるかもしれません。あなたはどんな景色にぐっときますか？

窓の むこうに



『ときめく小鳥図鑑』

著者／中村文(文), 吉野俊幸(写真),
樋口広芳(監修)
出版社／山と溪谷社
出版年／2023年



窓のおここのから聞こえてくる鳥のさえずりが気になるあなた。
かわいい小鳥の写真や、文学や絵画の中の小鳥など、いろいろな側面からみた小鳥への愛が詰まっています。



『ときめく星空図鑑』

著者／永田美絵, 廣瀬匠
出版社／山と溪谷社
出版年／2021年



41の星空の見どころとストーリーが紹介されています。夜空を眺めるのが楽しくなります。今日の窓のおここのにはどんなが見えるのでしょうか。

Book design

の世界

vol.36

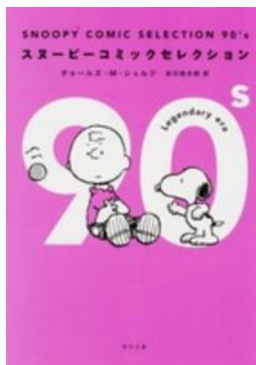
須田 杏菜 さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第36回目は、須田杏菜さんです。

今回は、須田杏菜さんの装丁をご紹介します。2024年1月号よりリニューアルした月刊誌『世界』のアートディレクションも須田杏菜さんが手掛けられています。



ブックデザイン：須田杏菜

はじめに『スヌーピーコミックセレクション 90's』（チャールズ・M・シュルツ作／谷川俊太郎訳／KADOKAWA／2015年／726.1||Sh 11||90's）をご紹介します。50年にわたり新聞連載されていたコミック『ピーナッツ』のよりぬき作品を楽しむことができます。最終回を迎えた90年代の作品を収めたこちらは、鮮やかなピンク色が目をひきます。各年代ごとにそれぞれカバーの色が違うので、一冊でも、並べてもかわいいデザインです。



カバー・図版：フィンセント・ファン・ゴッホ《ひまわり》 ※部分 1888年
カバーデザイン：須田杏菜

『オー・ヘンリー傑作集2 最後のひと葉』（オー・ヘンリー著／越前敏弥訳／KADOKAWA／2021年／933.7||H 52||2）は、オー・ヘンリーの傑作短編を味わうことができる一冊です。カバーには、ゴッホの《ひまわり》の絵が使われています。オー・ヘンリーは約8年間、ゴッホは約10年間という短い期間に数多くの傑作を残したという濃密な人生が響きあうような装丁です。



装画：雪下まゆ
装丁：須田杏菜

『六人の嘘つきな大学生』（浅倉秋成著／KADOKAWA／2021年／913.6||A 85）は、2024年秋に映画化作品が公開予定の、就職試験の最終選考をめぐる青春ミステリ作品です。登場人物をイメージさせるような装画は、表情から感情を読み解きたくくなります。人物の間に配置されたタイトルの赤い文字によって、心理戦の緊迫感が漂うデザインとなっています。



装画：早川世詩男
装丁：須田杏菜

『喫茶おじさん』（原田ひ香著／小学館／2023年／913.6||H 32）。主人公は、松尾純一郎、57歳。早期退職後の趣味・純喫茶めぐりの日々を描いた一冊です。タイトルの文字が喫茶店の看板のようで、レトロな印象を受けます。喫茶店に流れる穏やかな空気を感じるような装丁です。

最後にご紹介する『お探し物は図書室まで』



羊毛フェルト：さくだゆうこ
写真：小嶋淑子
装丁：須田杏菜

（青山美智子著／ポプラ社／2020年／913.6||A 58）は、小さな図書室を舞台にした、5人の探し物の物語です。背表紙には図書館の本に貼られているラベルがデザインされていて、遊び心を感じます。作中で描かれる羊毛フェルトがカバーにも登場しています。読み終わった後で、もう一度じっくり見たくなるような、ほっこりと心温まる装丁です。

今回ご紹介した須田杏菜さんの装丁からは、それぞれ作品の持つ空気感が伝わってきました。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

ちょこちょこ日記 #46 「便利になりました!」

2024年3月1日より三重短期大学附属図書館ホームページがリニューアルし、オンライン新サービスがスタートしました。閲覧する端末の画面サイズに合わせて最適化するレスポンス対応となりましたので、スマホからも図書館ホームページが見やすくなりました。

図書館ホームページからマイページへログインすることで、

- スマホ帯出証で本を借りる
- WEBで本の予約や貸出延長の申し込み



ができるようになりました。

8・9ページでご紹介した電子書籍も、マイページからご利用いただけます。

便利になった図書館ホームページ、ぜひご活用ください。

※マイページは、三重短期大学 学生・科目等履修生・聴講生が対象のサービスです。学外の方はご利用いただけません。ご了承ください。

次号 No.107 は、2024年6月発行予定です。

こんな本読んでみて No.105

2024年2月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/>